



警察官・警察事務 等 の 業務 内容 試験 及 び 採用 について

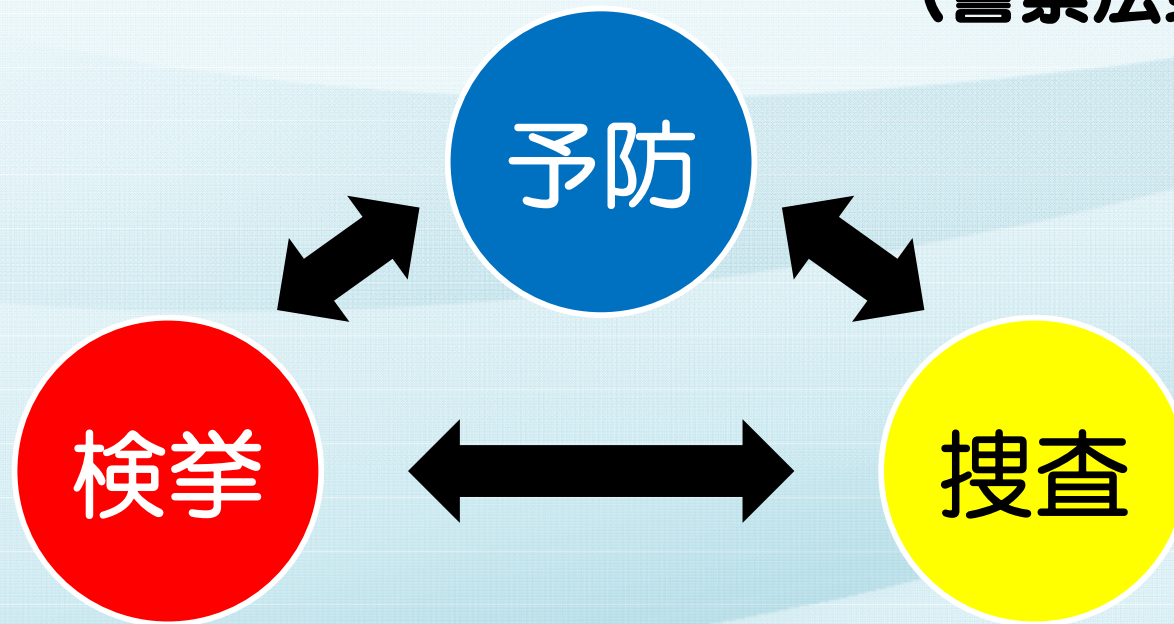


徳島県人事委員会事務局
徳島県警察本部
令和2年3月9日(月)

警察の責務

警察は、個人の生命、身体及び財産の保護に任じ、犯罪の予防、鎮圧及び捜査、被疑者の逮捕、交通の取締その他公共の安全と秩序の維持に当たることをもってその責務とする。

(警察法第2条第1項)



徳島県警察組織図

令和2年1月1日時点

徳島県警察本部	警務部	総務課、情報発信課、会計課、拠点整備課、警務課、企画課、監察課、情報管理課、教養課、厚生課
	生活安全部	生活安全企画課、地域課、通信指令課、少年女性安全対策課、生活環境課
	刑事部	刑事企画課、捜査第一課、捜査第二課、組織犯罪対策課、鑑識課、科学捜査研究所
	交通部	交通企画課、交通規制課、交通指導課、運転免許課、交通機動隊、高速道路交通警察隊
	警備部	公安課、警備課、機動隊
警察学校		
警察署	①徳島中央、②徳島名西、③徳島板野、④鳴門、⑤小松島、⑥阿南、⑦那賀、⑧牟岐、⑨阿波吉野川、⑩美馬、⑪三好	

※令和2年4月1日～⑥阿南と⑦那賀を統合し「阿南署」となります。

警察学校

～警察官として必要な知識や技能、
そして心を鍛える～

採用後、最初に行われるのが警察学校での初任科研修。同期生と寮生活を送りながら、警察官としての知識や技能、体力や精神力を養います。同期の仲間たちと競い合い、助け合うことで生まれる連帯感は人生の大きな財産となることでしょう。



地域警察

～地域の安全を守り、住民の多様な要望に素早く対応～

新人警察官がまず配属される地域警察。パトロールや交番前での立番、地理案内など地域の人々に最も近い存在。

110番通報を受理し、あらゆる初動捜査に携わり、地域の治安を昼夜問わず守っています。



刑事警察

～悪と最前線で対決し、犯罪捜査活動、鑑識・科学捜査で真相解明～

殺人や強盗などの凶悪犯罪や、詐欺などの知能犯罪、窃盗犯罪や暴力団犯罪、薬物銃器犯罪などの捜査や犯人検挙に欠かせない鑑識・科学捜査活動を行います。

生活安全警察

～身近な犯罪の抑止、安全安心で犯罪の起きにくい社会づくりを推進～

少年事件の捜査や児童虐待・DV・ストーカー等の人身安全関連事案、サイバー犯罪捜査、生活経済環境事犯の取締り、風俗営業や銃砲刀剣類の許認可・行政処分など、幅広い分野で県民生活の安全を守ります。



交通警察

～交通事故を防止し、安全で快適な交通社会を実現～

交通違反や暴走族の取締り、交通事故捜査、幼児から高齢者までを対象とした交通安全教育を行い、交通安全意識の啓発に力を入れています。また、道路の交通規制や運転免許の試験・交付なども行っています。

警備警察

～テロ等の未然防止・要人警護・災害救助のスペシャリスト集団～
自然災害や水難・山岳事故の救出・救助活動をはじめ、テロ事件への対応や国内外の要人警護、治安警備を行う「警察の最後の砦」ともいえる存在。危険を伴う出動も多いため、レンジャーや潜水、爆発物処理など特別訓練を受けたスペシャリストが集います。



警務警察

～警察組織全体を管理・運営するサポーター～

職員の採用・人事や警察行政に関する企画・調査、広報、会計、給与管理、システム開発・管理など警察組織全体を多方面からサポート。職員の働きやすい環境づくりと円滑な組織運営を促進し、第一線の警察活動を支えています。

県警建築職（建築B）

県民の方が利用しやすく、警察官が働きやすい県内の警察施設（警察署、交番、駐在所等）の整備を行います。施設設備の計画から施工までを一括して担当したり、民間のノウハウ・技術を活用したPFI手法による整備も導入しています。



少年補導職員

非行等の少年問題に関する警察の専門員として、少年の相談や問題行動のある少年の立ち直り支援を行うとともに、市町村や学校をはじめ地域住民やボランティアの方々と連携を取りながら、少年の非行防止、犯罪被害防止を図るための活動に従事します。

申込みから採用内定までの流れ

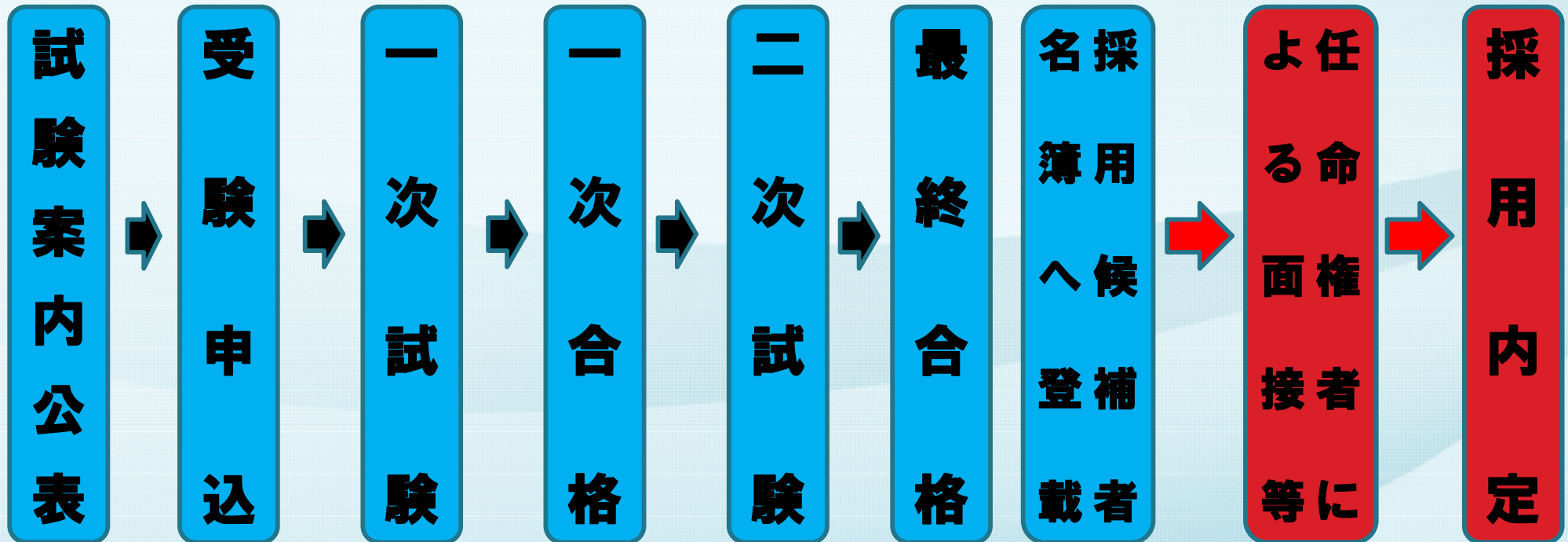
人事委員会

警察本部

- ① 電子申請 (推奨)
 - ② 郵便申請
- ※持参不可

重要

最終合格者
≠
採用内定



※人事委員会での最終合格者全員が採用されるとは限りません。

令和2年度 採用試験の実施予定

試験名		試験案内 申込書 配布開始日	受付 期間	1次 試験日	2次 試験日	最終合格 発表日
警察官	A(男性) A(女性)	5/14 (木)	5/15(金) ~ 6/5(金)	7/12 (日)	7月下旬~	8月中旬
	B(男性) B(女性)	7/1 (水)	8/6(木) ~ 8/27(木)	10/18 (日)	11月上旬~	11月中旬
警察職員	大学 卒業程度	5/14 (木)	5/15(金) ~ 6/2(火)	6/28 (日)	7月中旬~	8月中旬
	高等学校 卒業程度	7/1 (水)	8/6(木) ~ 8/24(月)	9/27 (日)	10月下旬~	11月中旬

令和2年度 採用試験の受験資格

試験名		主な受験資格
警察官	A(男性) A(女性)	30歳までの者で四年制大学を卒業又は卒業見込みの者
	B(男性) B(女性)	18歳～30歳までの者で四年制大学を卒業又は卒業見込みの者を除く
警察職員	大学 卒業程度	<ul style="list-style-type: none">22歳～36歳までの者21歳以下で四年制大学を卒業又は卒業見込みの者
	高等学校 卒業程度	18歳～21歳までの者で四年制大学を卒業又は卒業見込みの者を除く

警察官（A・B）1次試験の内容

（令和元年度試験案内）

1次試験	方法	試験時間	配点																							
教養試験	択一式50問 必須解答	警察官A 2時間30分 警察官B 2時間	100点																							
身 体 ・ 体力検査	<p>1 身体検査</p> <p>(1) 視力・・・両眼とも、裸眼視力が0.6以上又は矯正視力が1.0以上。</p> <p>(2) 色覚・・・警察官としての職務遂行に支障がないこと。</p> <p>※視力・色覚は、身体検査時の結果によっては、再検査を行った上で判定。</p>		-																							
	<p>2 体力検査（基準を全て満たした者は、検査結果に応じて配点。）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>男 性</th> <th>女 性</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>腕立て伏せ</td> <td>30回以上</td> <td>15回以上</td> <td>2秒に1回</td> </tr> <tr> <td>上体起こし</td> <td>20回以上</td> <td>15回以上</td> <td>30秒間</td> </tr> <tr> <td>反復横跳び</td> <td>36回以上</td> <td>32回以上</td> <td>20秒間</td> </tr> <tr> <td>握 力</td> <td>左右平均37kg以上</td> <td>左右平均22kg以上</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>立ち幅跳び</td> <td>180cm以上</td> <td>140cm以上</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		種 目	男 性	女 性	備 考	腕立て伏せ	30回以上	15回以上	2秒に1回	上体起こし	20回以上	15回以上	30秒間	反復横跳び	36回以上	32回以上	20秒間	握 力	左右平均37kg以上	左右平均22kg以上	-	立ち幅跳び	180cm以上	140cm以上	-
種 目	男 性	女 性	備 考																							
腕立て伏せ	30回以上	15回以上	2秒に1回																							
上体起こし	20回以上	15回以上	30秒間																							
反復横跳び	36回以上	32回以上	20秒間																							
握 力	左右平均37kg以上	左右平均22kg以上	-																							
立ち幅跳び	180cm以上	140cm以上	-																							

※令和元年度に実施したものであり、令和2年度採用試験においては、変更する場合があります。

警察職員（警察事務、建築B）1次試験の内容

（令和元年度試験案内）

試験種別	試験種目	方法	試験時間	配点
大学 卒業程度	教養試験	択一式 50問必須解答	2時間 30分	40点
	専門試験	択一式 40問必須解答	2時間	60点
高等学校 卒業程度	教養試験	択一式 50問必須解答	2時間	100点

警察官・警察職員採用試験 第2次試験の内容 (令和元年度試験案内)

試験区分	試験種目	方 法	試験時間	配 点
警察官 (A・B)	論文試験	1 題 約800字	1 時間	30点
	口述試験	主として人柄、性格等を見るため、個別面接を行います。		120点
	適性検査	警察官として職務遂行上必要な素質及び適性について、検査を行います。		—
	身体精密検査	警察官として職務遂行上必要な健康度について、身体検査書の提出を求めます。		—
大 学 卒業程度	論文試験	1 題 約1,000字	1 時間 30分	40点
	口述試験	主として人柄、能力、性格等を見るため、プレゼンテーション及び個別面接を1回行います。 【プレゼンテーション】 第1次試験合格通知に記載された課題について、個別に自分の考えを1分以上2分以内で自分の言葉で述べてもらいます。		160点
	適性検査	公務員として職務遂行上必要な素質及び適性について、検査を行います。		—
高等学校 卒業程度	論文試験	1 題 約800字	1 時間	40点
	口述試験	主として人柄、能力、性格等を見るため、個別面接を行います。		160点
	適性検査	公務員として職務遂行上必要な素質及び適性について、検査を行います。		—

徳島県警察の福利厚生等 (令和元年度実績)

<p>給 与</p>	<p>警察官A 210,417円 警察官B 177,364円 警察事務等(大卒程度) 190,382円 警察事務等(高卒程度) 155,601円</p>																																
<p>勤 務 時 間</p>	<p>通常勤務 月～金 8：30～17：15 ※交替制勤務の場合は、当務1日、非番1日、休み1日を繰り返します。</p>																																
<p>各 種 休 暇</p>	<p>年次有給休暇 採用1年目：15日間（2年目以降：20日間） ■夏季休暇 ■産前・産後休暇 ■育児休暇（子の保育） ■ワークライフバランス休暇（ファミリー休暇【結婚記念日・誕生日等】） ■介護休暇 など</p>																																
<p>福 利 厚 生</p>	<p>健康保険、年金、公務員共済制度等 ホテル、スポーツ施設等の割引利用 など</p>																																
<p>宿 舎</p>	<p>県下各地に家族住宅、独身寮を設置 ※民間住宅を借りる場合は、住宅手当として家賃の一部を補助。</p>																																
<p>昇 任 制 度</p>	<p>試験制と勤務実績等の選考制度があり、能力や努力を的確に評価する昇任制度をとっています。</p>  <p>試験制と勤務実績等の選考制度があり、能力や努力を的確に評価する昇任制度をとっています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>階級章</th> <th>階級</th> <th>職名</th> <th>昇任要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>巡查</td> <td>係員</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>巡查長</td> <td>指導員</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>巡查部長</td> <td>主任</td> <td>●大学卒 採用後2年以上 ●短大卒 採用後3年以上 ●高卒等 採用後5年以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>警部補</td> <td>本部の係長、警察署の課長または係長</td> <td>●大学卒 採用後2年以上 ●短大卒 採用後3年以上 ●高卒等 採用後3年以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>警部</td> <td>本部の課長補佐、警察署の課長</td> <td>警部補在職4年以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>警視</td> <td>本部の課長、警察署長</td> <td>選考</td> </tr> <tr> <td></td> <td>警視正</td> <td>本部の部長、警察署長</td> <td>選考</td> </tr> </tbody> </table>	階級章	階級	職名	昇任要件		巡查	係員			巡查長	指導員			巡查部長	主任	●大学卒 採用後2年以上 ●短大卒 採用後3年以上 ●高卒等 採用後5年以上		警部補	本部の係長、警察署の課長または係長	●大学卒 採用後2年以上 ●短大卒 採用後3年以上 ●高卒等 採用後3年以上		警部	本部の課長補佐、警察署の課長	警部補在職4年以上		警視	本部の課長、警察署長	選考		警視正	本部の部長、警察署長	選考
階級章	階級	職名	昇任要件																														
	巡查	係員																															
	巡查長	指導員																															
	巡查部長	主任	●大学卒 採用後2年以上 ●短大卒 採用後3年以上 ●高卒等 採用後5年以上																														
	警部補	本部の係長、警察署の課長または係長	●大学卒 採用後2年以上 ●短大卒 採用後3年以上 ●高卒等 採用後3年以上																														
	警部	本部の課長補佐、警察署の課長	警部補在職4年以上																														
	警視	本部の課長、警察署長	選考																														
	警視正	本部の部長、警察署長	選考																														

ワークライフバランスのための制度

■ 時差出勤（※通常勤務の場合のみ）

従来／8:30～17:15

個人のライフスタイルに応じて、9つのパターンから勤務時間を選択。

- ★ 保育園への送迎に
- ★ 家庭で過ごす時間の増加に
- ★ 通勤ラッシュの回避に

時差出勤（※通常勤務の場合のみ）

従来／通常勤務 8:30～17:15

個人のライフスタイルに応じて、9つのパターンから勤務時間を選択。多様な働き方が可能になります。

① 特S勤務	7:00～15:45	⑤ 特B勤務	9:00～17:45
② S勤務	7:30～16:15	⑥ B勤務	9:30～18:15
③ 特A勤務	8:00～16:45	⑦ 特C勤務	10:00～18:45
④ 通常勤務(A勤務)	8:30～17:15	⑧ C勤務	10:30～19:15
		⑨ 特D勤務	11:00～19:45

活用例

- 家庭で過ごす時間の増加に
- 通勤ラッシュの回避に
- 個人の習い事や趣味の時間に
- 保育園への送迎に

■ エリア異動


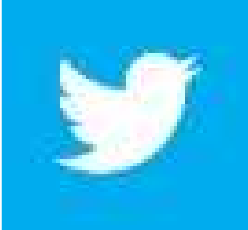



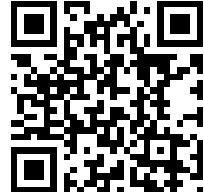





従来／県内11警察署及び県警本部の課
約2～4年周期

県内を3つのエリア（県中央、県南、県西）に分け、第2希望まで申告。可能な限り希望エリア内で中長期的に勤務できるよう配慮されます。

- ★ 転居を伴う異動による職員
家族の負担を軽減



SNS等による各種の情報発信

	H P	Twitter	Facebook	
				検索ワード
				徳島県職員 採用案内
				徳島県警察

さまざまな情報を発信!!

SNS等による各種の情報発信



YouTube

徳島県警察
公式チャンネル!

チャンネル
登録をして
情報をゲット
しよう!



**「セイギの老舗」で
一緒に仕事ができる日
を楽しみにしています！**